

中国における屋内型遊戯施設の遊び環境

—2つのタイプの施設の比較—

筑波大学医学医療系 徳田克己
筑波大学医学医療系 水野智美

I. はじめに

TOKUDA & MIZUNO(2016)は、北京市内の幼児教室および屋内遊技施設 60 か所、上海市内の幼児教室および屋内遊技施設 20 か所、広州市内の幼児教室および屋内遊技施設 5 か所を实地調査し、これらの施設が中国の子どもの発達に与える効果に関して報告した。また、TOKUDA, NISHIMURA & MIZUNO(2016)は、日本で運営されている「指導者のいる屋内型遊戯施設」で遊ぶことによって子どものストレスが軽減され、また子どもの社会性の発達が促されていくことを保護者に対する質問紙調査の結果から明らかにしている。

本稿では、中国において、日本企業 A 社の現地法人が開設・運営している屋内型遊戯施設と中国企業が開設・運営している屋内型遊戯施設の、それぞれの遊具の種類、遊具の配置、環境整備のためのスタッフの仕事ぶりなどの環境面を中心に比較した結果を報告したい。

II. 方法

1. 環境調査の対象遊戯施設

中国・武漢市で A 社の現地法人が開設・運営している Kidzooona、中国・武漢市内で中国企業が開設・運営している Card My World、茨城県で A 社が開設・運営している S'kids Garden の 3 施設を遊び環境の調査対象施設とした。S'kids Garden は遊びの指導スタッフがいるが、その点は評価の対象にせず、遊具の種類、遊具の配置、環境整備のためのスタッフの仕事ぶり

などの環境面だけを評価の対象にした。

2. 手続き

中国・武漢市の Kidzooona と Card My World では子ども関係分野の専門家（幼児心理学、幼児教育学）2 名によるチェックリストを用いた評価を行った。Card My World は 2017 年 1 月の火曜日 10 時 30 分から 12 時に、Kidzooona は 2017 年 1 月の水曜日 10 時 30 分から 12 時に実施した。S'kids Garden では子ども関係分野の専門家（幼児心理学、幼児教育学、保育学、小児運動学、小児看護学、特別支援学、児童福祉学）7 名によるチェックリストを用いた評価を行った。2016 年 9 月の土曜日 9 時 30 分から 11 時に施設内外から観察した。

3. チェックリスト

施設や遊具の安全性、子どもや保護者に対するスタッフの仕事ぶり等に関する 11 項目において、7 段階評定尺度と自由コメントを評価者に求めた。評価者は、他の屋内遊戯施設や公園などを同じ評価基準を使って評価した経験がある。今回の評価は、個々の評価者の過去の経験をもとに実施されており、特定の遊戯施設と比較したものではない。言わば、「**に関してはこうあるべき」という自己内の基準に従って行われた絶対的な評価である。

なお、武漢市の施設に関しては、施設に示されていた「施設を利用するにあたってのルール」の妥当性についても評価した。

Ⅲ. 結果と考察

チェックリストに基づく調査結果を表1に示す。表1の数値は、数字が大きいほどその内容により合致している。例えば「④遊具が安全に配置されているか」の数値が5.0よりも6.0の方がより安全であると評価していることになる。

- (1)日本企業が開設・運営している Kidzooona と中国企業が開設・運営している Card My World を比較したところ、2ポイント以上の差があり、Kidzooonaの方が評価点が高かったのは、「③遊具の安全性」、「⑤遊具や施設内の清潔さ」、「⑨スタッフの数」、「⑩子どもの安全への配慮」の4項目であった。逆に、Card My Worldの方が評価点が高かったのは「⑪保護者のいる場所」の1項目であった。
- (2) Kidzooona も Card My World も大型遊具は同じようなものが配置されており、5~6歳ぐらいの子どもであっても身体を大きく動かして楽しめるようになっていた。また、両方ともスペースが広いので、遊具と遊具の間の距離も確保されていた。本研究で対象にした日本の S'kids Garden は施設のスペースが狭く、遊具間の距離が狭かったことによって「④遊具の安全な配置」の項目の評価が中国の2つの施設に比べて低くなっている。
- (3)中国の2つの施設は「いつ消毒をしたか」を入り口近くのパネルで明示していた。しかし、Card My World ではボールプールのボールの消毒を営業時間内に、しかも一部のボールだけに対して行っており、十分とは言えない状況であった。
- (4)中国のどちらの施設も「飲食禁止」の決まりが明示されていた。しかし、どちらの施設でも、遊具の上で、親は子どもにお菓子を食べさせており、その食べ残しがいくつかの遊具の中に落ちている状況であった。
- (5)中国の2施設では、日本の施設と異なり、机の上や遊び場の壁などに、パズルや型はめなどの知育玩具が多く配置されていた。このこ

とから「⑧頭を使って遊ぶ遊具」の評価に日中の施設の差が出ている。

- (6) Kidzooona と Card My World はともに、施設内に遊びをリードするスタッフは配置されていない。中国の2つの施設のスタッフは安全を確保するためのスタッフであるが、Kidzooonaには常に数名が施設内にいた。しかし、Card My World にいたのは1名のみであった。子どもの安全を確保する1つのポイントは、床に落ちている玩具を片づけることである。走り回る子どもが床の玩具を踏んだ場合、転んで大きなケガをするからである。Card My World ではスタッフの数が少ないので玩具を片付ける人がおらず、床のあちこちにおもちゃが落ちていた。一方、Kidzooonaではおもちゃを片付ける専門スタッフが1名おり、施設内を巡回してすぐにおもちゃを片付けていた。この点は子どもの安全を確保するための大きなポイントであり、高く評価することができる。
- (7) 中国の多くの遊び場では子どもだけではなく親も一緒に入場する。もちろん、親も入場料を支払って入る。一人の子どもに母親と祖母の二人が付き添って入場しているケースも多い。子どもの年齢にもよるが、親は入場せず、外から子どもが遊ぶ様子を見ている場合、あるいは子どもと母親が入場して、父親や祖父母は外から見ている場合などがあり、中国の多くの遊び場ではイスに座って外から施設の中を見ることができる無料のスペースが用意されている。なかには「スマホの無料充電装置」が設置されている場所もある。Card My World ではスマホを充電しながら、イスに座って施設内を見ることができる。しかし、Kidzooonaでは長いが設置されているが、それに座ると施設に背を向けることになり、子どもの遊ぶ姿を見ることができない。その点が「⑪子どもの遊びを見守りながら過ごす場所」の評価の差になっている。

表1. チェックリストによる施設の環境評価の結果 数値は1～7、中央値は4

	Kidzooona	Card My World	S`kids Garden
①遊具は1～3歳の子どもにとって魅力的か	6.0	5.0	5.3
②遊具は4～6歳の子どもにとって魅力的か	5.5	5.5	6.4
③遊具自体に安全性が確保されているか	6.0	3.0	5.6
④遊具が安全に配置されているか	6.0	5.0	4.7
⑤遊具や施設内が清潔に保たれているか	5.5	3.0	5.7
⑥子どもが大きく身体を動かして遊べる遊具があるか	6.0	5.0	5.0
⑦子どもが走り回れるスペースが確保されているか	5.5	4.5	3.9
⑧子どもが頭を使って遊べる遊具があるか	5.0	5.0	3.8
⑨スタッフの数は適切か	5.0	2.0	5.0
⑩スタッフは子どもの安全を守れるように配置されているか	4.0	1.0	4.9
⑪保護者が子どもの遊びを見守りながら過ごす場所は確保されているか	3.5	5.5	5.6

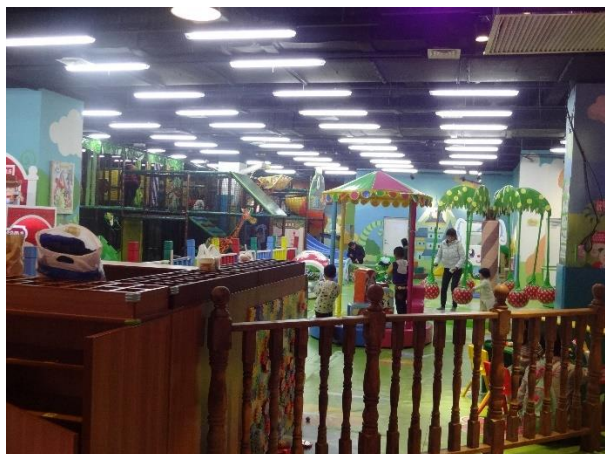


Fig.1 Card My World 大型遊具が揃っている。



Fig.2 Card My World 1～2歳の子どもが遊べる遊具が多数ある。



Fig.3 Card My World 砂場がある。そこには遊具が散乱しており、整えられていない。



Fig.4 Card My World 壁に知育玩具が設置されている。



Fig.5 Kidzooona ほかにはないオリジナルの大型遊具がある。



Fig.6 Kidzooona 小さな子どもが遊ぶための小型の遊具が多数ある。



Fig.7 Kidzooona 新しい遊具を積極的に取り入れている



Fig.8 Kidzooona 壁には知育玩具が備え付けられている。



Fig.9 Card My World この施設は入場者に靴下をはいてもらうことを求めている。しかし、床も遊具もとても滑りやすい。この遊具を使っていた子どもは何度も滑ってしまい、その都度、母親が子どもを支えていた。私たちはかなり危険であると感じた。



Fig.10 Kidzoon 施設の中を、いつ消毒したかを示しているパネル。これは入口の近くに置かれていた。しかし、このパネルではどのように消毒しているのが不明である。他の施設では、入り口近くに設置されているモニターで、録画された消毒の様子の映像を流しているケースがあった。そのようなすれば入場者は安心であろう。



Fig.11 Card My World ボールプールのボールを消毒するために袋に入れる作業をしていた。すべてのボールを袋に入れることはできないので、消毒するのは一部分のボールに限られている。この作業をしているスタッフはふざけてボールを投げ合ったりしていたが、子どもに対しては「今、入ってはダメ」と冷たく対応していた。



Fig.12 Card My World 施設内では飲食禁止の規則があり、そのことがイラストで掲示されている。しかし、多くの親は子どもにお菓子を与えていた。その食べ残しがいろいろなところに落ちていた。食物アレルギーのある子どもには危険な状況である。



Fig.13 Kidzoona この施設も飲食禁止であったが、母親が子どもにお菓子を与えていた。



Fig.14 Kidzoona この施設には飲食ができるスペースがあった。そこで子どもにお菓子や食事を与えている親もいたが、遊具の近くで子どもに食べさせている親の方が多かった。



Fig.15 Card My World 玩具（歯車）が施設内にいくつも落ちていた。この歯車には金具が上向きについており、これを踏むと足の裏にけがをしてしまう危険性がある。この歯車はこのままずっと放置されていた。



Fig.16 Kidzoon このスタッフは玩具を片付けることだけをしていた。この施設では、床の上におもちゃが散らかったままになっていることがなかった。



Fig.17 Card My World イスに座って子どもが遊ぶ様子を見ることができる。ただ、座っている人たちは子どもや孫の姿を見ているのではなく、ほとんどの人がスマホを操作していた。



Fig.18 Kidzoon ベンチはあるが、それに座ると施設に背を向けることになり、子どもを見ることができない。子どもの遊ぶ姿を見るためには立っていないと見えない。

参考・引用文献

- TOKUDA K. & MIZUNO T. (2016) Current Condition and Challenges in Classes and Indoor Play Area for Toddlers in Large Cities in China, *The 8th conference of The Asian Society of Child Care*, 41-44.
- 徳田克己・水野智美 (2016) 中国における幼児教室の状況と課題, 日本乳幼児教育学会第 26 回大会発表論文集, 366-367.
- 徳田克己・水野智美・西村実穂 (2014) 子ども支援を目指す企業における社内資格認定制度の試みⅡ - 資格取得者による認定制度の評価と資格取得後の活動 -, 日本乳幼児教育学会第 24 回大会発表論文集, 304-305.
- 徳田克己・水野智美・西村実穂・大越和美 (2015) 子ども支援を実践している企業のチャレンジ - 発達障害傾向のある子どもの保護者を支援する HP の開設 -, 日本乳幼児教育学会第 25 回大会発表論文集, 278-279.
- 徳田克己・水野智美・西村実穂・大越和美 (2013) 子ども支援を目指す企業における社内資格認定制度の試み, 日本乳幼児教育学会第 23 回大会, 114-115.
- TOKUDA K. & MIZUNO T. (2012) Psychological difficulties demonstrated by young children who experienced the Great East Japan Earthquake and its aftershocks, *The Asian Journal of Child Care*, 3, 1-7.
- TOKUDA K., NISHIMURA M. & MIZUNO (2016) Effectiveness of an Indoor Play Area for Children, as a Place of Developmental Support and Its Issues - Based on the Results of Questionnaire Survey Subjecting the User -, *The 8th Asian Society of Child Care*, 57-60.

Playing Environment of Indoor Playing Facilities in China

- Comparison Between Two Types of Facilities -

We report the comparison among between indoor playing facilities opened and operated by the local subsidiary of Japanese company and indoor playing facilities opened operated by Chinese companies on the environmental aspect such as types of play equipment, arrangement of play equipment, and how staff works in environmental maintenance. When Kidzooona opened and operated by a Japanese company and Card My World opened and operated by a Chinese company was compared, there are more than 2 points difference. The four points Kidzooona was evaluated higher was “3. Safety of the play equipment”, “5. Cleanliness of the play equipment and facility”, “9. Number of the staff”, and “10. Safety consideration for the children”. On the other hand, Card My World was evaluated higher on one point and it was “11. The place where parents stay”.